



高島学園

中学校だより 【第13号】

令和7年 1月 30日

TEL36-0079 FAX36-8012

【文責 校長 浦島 容子】

令和・変化を創る

新生徒会が、スローガンを「超!!」とし、「常に変化し続ける学校」にしたいと、初心を表明してくれました。非常に楽しみです。

令和「変化を創る時代」と言われて7年が経ちます。学校も積極的に変化を創り出すことを目指します。

早速ですが、図書室が変化しました。今までの図書室とはまるで変わりました。ドアを開くと、オープンスペースで、開放的な明るい空間ができました。

おすすめの本が展示され、読書への意欲が高まります。昨年の卒業生が作成してくれた本の展示棚も効果的に活用され、入り口の掲示板には興味深い掲示物が貼られています。『読書郵便』と名づけ、読んだ本を紹介する活動も始まりました。今年は、市教育委員会から図書館司書が配置され、図書館担当の教員と生徒会図書委員長とが、一緒に図書室運営をしてきました。市教育委員会課題対応室から毎日届けていただく新聞3日分は、英語の授業でフル活用です。

本を廊下に置いて目にふれる機会を増やしたり、学級文庫の冊数を増やしたりして、読書環境が豊かになり変化が起こっています。



対話でつながろう

保護者学校評価アンケートの自由記述です。

「家庭と学校と両輪で」という言葉から、家庭と学校との対話の大切さをあらためて感じさせてもらいました。

これからの子育てには、豊かな「対話」が重要だと言われています。言葉を交わすことで豊かに伝え合えるようになり、話の内容が深まるようになるということです。学校でも生徒と対話をしながら授業を進め、生徒と生徒とが対話をしながら理解を深めたり、つながりを深めたりできることを目指しています。

1月、人権学習で、7年生はゴールボールの体験、8年生はハンセン病についての学習、9年生は国際理解についての学習をしました。ご家庭での話題としてみてください。

「いつもお世話になりありがとうございます。保護者の責任もあるのですが、12月4日から10日が人権週間ということを知らず驚きました。「人権週間の行事ないの?」と尋ねるとあまりわかっていないようでした。『LGBT』についても初めて聞いた言葉らしく、家で一緒に話す良い機会となりました。改めてこういうことは、家庭と学校との両輪で、伝えていくべきことだと思いました。家庭でも折にふれ話したいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いします。」

高島学園 小中一貫教育 16年

小学6年生、中学校体験

高島学園ならではの取組です。6年生が、7年生と8年生の授業を体験しました。マイシティやマルシェの取組を共に行ってきたこともあり、中学生は6年生を温かく受け入れて一緒に学習を進めました。緊張がほぐれて、小学生が安心して授業を受けられたのもそのおかげです。小学生に丁寧に教えたり、英語で優しく質問したりする中学生の姿や、堂々と発表する小学生の姿は学園の誇るところです。

小学6年生の中学校体験は、のびのびと中学生生活をスタートしてくれることを目的に行っています。より豊かな教育を行うには、安心して学び、活動できる環境は欠かせません。2月には部活動の体験を行います。ぜひ参観ください。



高島学園で小1から9年間

1月下旬となり、いよいよ受験が始まりました。進学先が決定した生徒もでてきました。しかし、終わっても、これから受験に向かう仲間と前向きに学習に取り組んでいます。先週、2025年公立高校志望者の倍率が発表されました。今後また変動はありますが、大きな目安となります。厳しい倍率のところもありますが、しっかり乗り越えていってくれと願っています。

地域の方にお世話になり、面接練習をしています。「高島学園について教えてください」という質問に、次のように答えた生徒がいたようです。「高島学園の良いところは、9年間仲間が一緒ということです。ずっと変わらないので人間関係に変化がないなどと言われることもあります。9年間一緒なのでみんなお互いのことをよく知っています。」そして、「絵がうまい人、字がうまい人、速く走る人、スポーツ得意な人、勉強得意な人、おもしろい人など、みんなのいいところを知っています。9年間一緒はいいものです。」と。

卒業式はまだ少し先ですが、心温まる話に泣きそうになります。

卒業まであと1ヶ月と少しになりました。お互いを大事にして、みんなでよい卒業式を迎えてほしいと思います。

主体性の育成

4月から、学校で目指してきたのは、「主体性の育成」です。昨日、「3学期になって、自分から行動してくれまします。」という言葉や、職員から聞きました。給食の準備の時のことです。また、帰りの会終了後の教室の様子もです。

1月下旬、「やってみようとする、自ら行動する力」を、伸ばしてくれています。令和6年度もあと2ヶ月となりました。

